応かの 議な村傾村を信ら 定策ら定一会く例般活，目尽の禁じれ念例 のの例農会䚀慟一線く福えだがし㭙会案地で問を貫のし祉なくた王追等过にさし过て向いいていご議追行道村おれていことを議と員悼 てのへてこ々終れたろ一，六言 こ復のはら非始まめで同あ十葉 ら旧提（れ々ぶしにあっま九抜 れ・言ほまのれた。「ク惜そ歳粋 ま復 「とし立る。心ま別にと し興震どた場ごそ魂す。の突い山情然う


の若室



せ村者で即方シ組
んに「あ応あ々ッ合 し子るすなのプ議 たどとるた知を会 いも「福はる発議 とを繰祉，と揮長 てに返教らちろきて等
 れ溸れて境 震す
のでい㟶災
が美ま業か
しし・ら
思くた商の
い，工㙏広
出生高業旧く阿見
れが者発復蘇な
てい。展興
なの障がに
りあが重対
まるい要応
村
の1域の村続䛫

急紧 た追今 棹 | 告 |
| :---: |
| 別 |
| 式 |
| で |
| の |
| 号 |
| 辞 |
| 紘 |
| 粋 |
| 荒 |
| 牧 |
| 議 |
| 長 |

故

## 今 村 六 呈 議 員

$n$
ま
$\iota$
た
だ
は
に
に
推三功き度て熱いま援阿公項特 ま進月労数れはの意てし対蘇園で筆 しにに者々まじ必にはた策村線あす た，はとのしめ要よ，・ののるべ ださ六しすむたて性り，震矢有課整主き にな目全ら大調認防後阿鳥で促地

るが国しき查め災，蘇獣ある進方長 に活夕村功動がれ道村園策子あ矢の残躍1議績き予，路議線で育ク部懸念をト長に出算今と員にあて，阿菜 でいし，会対し化年しのつり支南蘇事 あた 加した

ま
い
ま
す。




